

令和元年度 大気中のアスベスト濃度測定結果について

表1 一般環境大気中のアスベスト測定結果

地域分類	測定地点	総繊維数濃度（本/L） （位相差顕微鏡法）	
		地点1	地点2
住宅地域	早良区祖原	0.24	0.15
	南区塩原	0.30	0.21
商業地域	中央区天神	0.24	0.21
準工業地域	博多区吉塚	0.41	0.33
幹線道路沿線地域	博多区千代	0.30	0.29

※総繊維数濃度：アスベスト以外の繊維も含む全ての繊維状粒子濃度の合計で、位相差顕微鏡法で測定。

※WHOの環境保健クライテリア 53（1986）：石綿及びその他の天然鉱物繊維が人の健康に及ぼす影響を総合的に評価したもので、「世界の都市部の一般環境中の石綿濃度は1～10本/リットル程度であり、この程度であれば健康リスクは検出できないほど低い」とされている。

※測定結果は、世界保健機関（WHO）の環境保健クライテリア 53（1986）と比べて低い。

表2 アスベスト除去等工事の測定結果

工事届出件数 （件）	測定件数 （件）	総繊維数濃度（本/L） （位相差顕微鏡法）			総繊維数濃度が 10本/Lを超過 した件数（件）
		最小値	最大値	幾何平均値	
138	101 [※]	0.17	13	0.68	2

※アスベスト飛散の恐れがある作業内容の工事101件について、各工事現場の敷地境界（風上・風下）等各2地点（計202地点）で測定を実施。

表3 上記工事で、総繊維数濃度が10本/Lを超過したものの電子顕微鏡法による確認結果

測定日	位相差顕微鏡法	電子顕微鏡法	アスベスト 繊維数濃度（本/L）
	総繊維数濃度（本/L）	アスベスト繊維の割合（%）	
R元. 9. 10	13	クロシドライト 98	13
R元. 12. 13	11	0	0

※【目安】大気汚染防止法に基づく特定粉じん発生施設（アスベスト製品製造施設等）の敷地境界基準：アスベスト繊維数濃度で10本/L